26　医療安全管理部

医療安全管理部では、各種マニュアルの作成と改訂、医療安全ラウンド、ワーキンググループ活動、各種モニタリング、医療事故対応、医療事故・インシデント報告の分析と改善策の実施、医療事故の機構報告、医療講演会(E-learning)の開催、医療安全ニュースの発行、医療安全管理に係る諸会議の運営、院内チーム活動の支援サポートなど、特定機能病院として求められている医療の質の維持・向上を図るための業務を行っている。

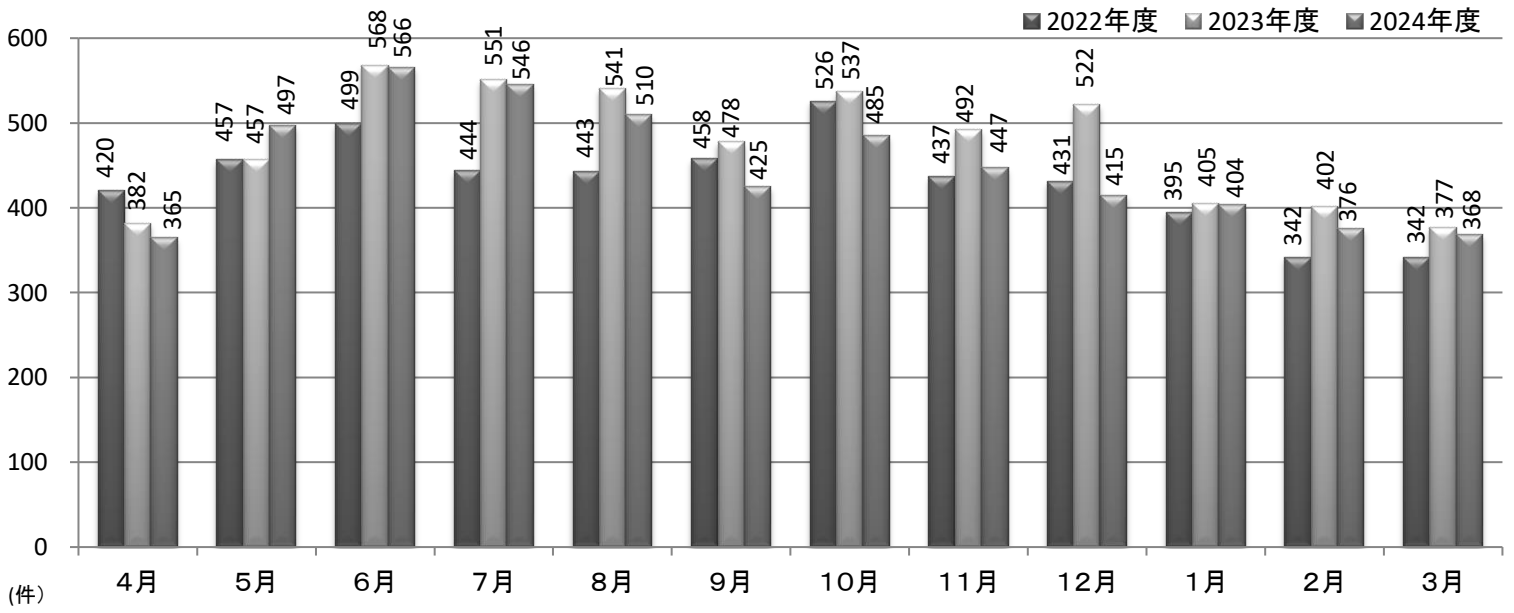
2024年度におけるインシデント報告件数は5,404件、事実関係報告件数は224件であり、2023年度に比して事実関係報告数は増加している。当院規模ではインシデント報告件数は4,000～4,500件が望ましいため、今年度も報告奨励活動を継続していく。

インシデント報告内容は①処方・与薬②療養上の世話③ドレーン・チューブ類の使用・管理が例年と同様に上位を占めている。処方・薬剤関係の内容は手順の不遵守や確認不足によるもの、療養上の世話に関するものとしては、転倒、転落や栄養に関することが多く報告されている。転倒・転落インシデントの報告件数自体は増加しているが、患者さんへの傷害度は低減されており、「医療従事者の環境整備10か条」の周知も低減の要因の一つに挙げられる。医師からのインシデント報告目標は10%以上を掲げているが、2024年度は2.5%(2023年度2.4%)、事実関係報告を加えても6.5%と微増している。今後も医師のインシデントレポート入力の促進活動を強化する。

医療安全管理部は当院の医療の質の向上と維持、さらに安全かつ適切な医療供給体制の確立のため、各部門・診療科と密な連携を図っていく。今年度も医療安全ラウンドやモニタリングを行いフィードバックしていくことで、医療スタッフにより近い医療安全管理活動に邁進したいと考える。全職員が重大な医療事故を起こすことなく、質の高い医療を提供できるようサポートする。

患者さんが安全で質の高い医療を受けられる病院を目指し、安全対策の充実を図っていくために、今後とも医療安全活動へのご理解・ご協力をお願いしたい。

26－１　年度別・月別インシデント報告件数の推移



26－２　年度別・内容分類別インシデント報告件数

（件）

区　　分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度 構成比率(%)
処方・与薬	1,269	1,486	1,765	2,005	1,730	32.0
ドレーン・チューブ類の使用・管理	827	921	938	881	842	15.6
療養上の世話・療養生活の場面	809	962	1,063	1,168	1,137	21.0
検査	341	531	537	529	591	10.9
診察、手術、麻酔、出産、その他の治療、処置に関する項目	269	315	173	426	505	9.3
医療機器等の使用・管理	176	169	296	295	242	4.5
輸血	15	21	23	25	38	0.7
その他	197	138	399	383	319	5.9
合計	**3,903**	**4,543**	**5,194**	**5,712**	**5,404**	**100.0**